

理科大久喜キャンパス



東京理科大学が移転 今後どうすべきか議会でも議論が

久喜市にある東京理科大学は、平成28年4月に神楽坂キャンパスへ全面移転するとし、跡地の有効利用等については、レットウッド・グループ(株)に売却したいので「学校用地」となっている土地の用途変更を検討してほしい。との経過がありました。これに対し、久喜市議会は平成26年6月26日、「東京理科大学経営学部久喜キャンパスの全面移転の白紙撤回を求める決議」を全会一致でしています。

しかし、その後何の進展もみられず、全面移転の期日が迫りつつあり、議会としても、「当事者として何らかの方向を示す必要があるのではないか」との考え方から、この2月議会、「代表者会議」の場で議論が開始されました。

久喜市はこれまで、土地取得費及び校舎建設費に30億円の補助金を、周辺整備に10億円の支出をするなどの経過もあり、将来に悔いのない、市民が納得いく解決策が求められています。

介護報酬引き下げ、保険料は値上げ 基準保険料は6.3%増の4,673円に！

久喜市は、第6期の介護保険計画にあり、保険料の「改正」案を示しました。説明では「積立金をあてて値上げ幅を抑えた」としていますが、「結果は値上げ」です。（追加議案として審議予定）
第1期で当時、鷲宮町の基準額は、2600円でした。15年間で約2倍近くに跳ね上がった保険料。加えて合計所得が160万円以上の高齢者は、利用料が「1割から2割へ」と2倍に負担増となります。同じ介護サービスを受け続けるためには、その分何かを削らないといけない、そんなひどいことが国策で進められようとしています。
高齢者同士が介護せざるを得ない「老老介護」や認知症同士が介護する「認知介護」、子どもが介護する「老少介護」、遠くの親を介護する「遠距離介護」といわれる実態をこそ、解決することが、政治に問われています。

22日「日曜議会」

会派の代表質問です

日本共産党久喜市議団を代表して石田としはる議員が質問します。

「格差が拡大する中、安倍政権が進めるアベノミクスの経済政策の転換、消費税増税中止を提言すべき」「市民から『水道料金の引き下げを求める請願』が、11704名の署名とともに提出されている。当初の計画から見て、引き下げが可能な国保税や水道料金の引き下げを実施すべき」など、国の悪政から市民の暮らしを守ることを。デマンド交通のサービス向上、平和憲法を守るなど、全体で30項目以上について質問します。

委員会の「行政視察」の報告です

「道路整備における市民要望」など

石田としはる

建設上下水道常任委員会では1月20日先進事例を学ぶため、山口県宇部市における「道路整備における市民要望の適正管理」を視察しました。

宇部市では、安全安心の街づくりを進める中、市の道路舗装や整備、歩道の新設改良、拡幅改良、側溝の整備など市民から数多くの要望が寄せられます。しかし、道路整備など「いつ実施してもらえるかわからない」との声が上がリ、市ではこの声に応える目的から、統一した優先順位評価基準を作成し、効率的で透明性の高い「道路整備における市民要望の適正管理」を進めています。

市民から年に一度要望を出してもらい、評価区分を「高」「中」「低」と3段階に分類。優先順位が高い順から予算要求箇所を決定し市民に公開します。

この事業を進めたことにより、計画的に業務が進められ効率化が図られ、透明性が高まったなど、市民から評価されているとのことでした。

幅員が4メートルに満たない道路に対する舗装などの整備はどのように進めているのかとの質問に、「市民からのニーズがある限り応えていく方向で進めている」とのことでした。

又、私道の対応はどのように進めているのかとの質問には、1-4を自己負担3-4を市が負担(上限50万円)で整備をすすめている。側溝については、45%を自己負担、55%を市が負担、(上限100万円)で整備をすすめているとのことでした。

久喜市でも道路整備に関する市民要望が沢山寄せられています。参考となる事例が多くあり、今後の久喜市政に反映するようにしたいと思います。



彫刻作品のひとつで「蜂の城」

「病児保育、婚活、 徘徊見守り」など

渡辺まさを

福祉健康常任委員会では、1月20～22日に春日市、伊万里市、飯塚市まで、行政視察研修へ行ってきました。

福岡県春日市では、病児保育事業（乳幼児健康支援一時預かり事業）の視察を行いました。

春日市では、生後3カ月から小学校3年生まで、病気療養中や良くなりかけている乳幼児のために、平成15年1月から小児科と併設型の病児保育事業を行っています。時間は8時半から5時半まで、土曜日も半日保育で、料金は生活保護・市民税非課税が無料、それ以外は2千円です。稼働率は85%前後で推移しています。

久喜市では、27年度には、この事業を進める予定になっています。

伊万里市では婚活応援推進事業を視察しました。

平成22年4月から、全国初の「婚活応援課」を作り、未婚率が高い伊万里市をどうにかしようという取り組みをし



研修先で聞き取りをおこなう渡辺議員（中央）

ています。推進協議会も作り婚活サポーターの応援とレストランなどの応援事業者にも力を借り、月に1回以上のイベント、魅力アップ講座、サポーター推進会議をしています。登録者は778名、イベントカップル211組、プロファイルカップル34組、成婚69名の成果です。

視察し、何よりも良かった所は、様々な相談を引き受ける相談員が、婚活者に寄り添いながら、「人間力をつけるフォローをする」と「励ましている人とのふれあいを大事にしていること」でした。

飯塚市では徘徊見守りOSサービスの視察をしました。地域の住民、事業所民間の力などを借りて、高齢者がいなくなってしまう時に探し出す手伝いをするものです。

いずれも久喜市ではこれから、取り組みなければならぬ事業だと思えます。

「市の債権管理、市有地の有効利用、市のシティポロモーション

杉野おさむ



研修中の杉野議員（右端）

総務財政市民常任委員会では、11月10日から12日まで福岡市、久留米市、熊本市を行政視察しました。今回は福岡市での「債権管理条例」についてご報告します。

行政には各種税金や、料金、貸付金などのうち様々な理由で「未収金」となっている債権があります。福岡市では、2010年に「市税収入向上対策本部」を立ち上げ、再建に応じた対策を強化してきました。（たとえば2012年度は国保料金の差し押さえが2245件で前年度の約2倍化など）また、内容は「督促から差し押さえ」までの手順をマニュアル化したり、逆に「不良債権」を放棄する基準を明確化するなどです。

久喜市では、2012年度決算で約600の債権があり、収入されていない債権の総額は39億円あります。その解消は行政課題として大きな問題であることは事実です。また「払えるにもかかわらず払わない悪質事例」の対策はもちろん必要です。しかし、久喜市では、税の収納率を上げようとするあまり、滞納者と同名同姓の市民の財産を差し押さえた事件もまだ記憶に新しいところです。最近でも、滞納者に振り込まれた給料を全額差し押さえた事例もありました。（市には、最低の生活費分は残す義務があります）

「格差」がますます広がり、働く人の給料が下がり続け、年金までもが下げられているということも、また現実です。

国政では、安倍自公政権のもとで、消費税増税と福祉切り捨てが強行されています。前年と同じ収入であっても、買えるものが減らされているのです。「払いたくても払えない」市民が増えています。住民福祉の向上が課題の行政としては、ここにこそ焦点を当てた施策が必要なのです。

「公民館、学校給食センター」など

平間ますみ



大原公民館の全景です

教育環境常任委員会では1月27日・28日の両日行政視察に行ってきました。27日は神奈川県平塚市立大原公民館です。

大原公民館は文部科学省所管の第60回優良公民館に選ばれています。具体的には1階が公民館、2階が小学校の音楽室になっています。2階部分は小学校と渡り廊下で結ばれています。授業中は防犯のため施錠されており1階から2階へはいけません。2階の音楽室は防音設備がされており学校が使用しない夜や、休みの日は地域の人たちが太鼓の練習などを行っています。公民館の利用率は少子化も関係し減っているということですが、行事は増えているということでした。

小学校との複合施設という特徴を活かし、学校と公民館が協力し、相互利用や、人的交流を図り子どもを中心とした取り組みを積極的に展開している。ということでしたが、学校、地域、公民館で活発な交流を行うにはいろいろな角度からの検討が必要だと感じました。

28日は静岡市立西島学校給食センターを視察しました。このセンターは民間の資金と経営、技術力を活用し、施設的设计・建設・管理・運営を一体的に行うPFI手法により建て替えが進められました。1日最大1万2000食を作ることができ、食物アレルギーに対応した専用の調理室（1日50食）もあります。平成22年9月から駿河区の小学校11校、中学校6校に配食しています。安全面も含め素晴らしい施設でしたが、「自校式のように子どもたちに調理をする人たちの顔が見えないのは残念です」と語った所長の言葉が印象的でした。

食育推進のための展示ギャラリー・見学ギャラリーも設置されています。食材費は小学校256円・中学校297円です。なお事業者との契約は平成21年3月から平成37年3月までで、事業費は77億7550万円です。